

令和6年度用 中学校英語 移行措置の要点

1. 趣旨

本資料は、令和6年度に *SUNSHINE ENGLISH COURSE* (以下、旧 *SUNSHINE*) を使用しており、令和7年度からも *Sunshine English Course* (以下、新 *Sunshine*) を使用する中学校1・2年生（新2・3年生）用の移行措置資料です。

2. 措置の必要なもの

● What を使った感嘆文

【令和6年度2年生（＝令和7年度3年生）への措置】

旧 *SUNSHINE* では3年生に出現する。

“What a helpful lion,” people said. (3年 Further Reading 2)

一方で、新 *Sunshine* では2年生に登場する。

“What a breathtaking place!” (2年 PROGRAM 4)

そのため、令和6年度2年生（＝令和7年度3年生）の生徒は措置する必要がある。新 *Sunshine* 3年生 PROGRAM 4 で How を使った感嘆文 “How nice!” が登場する際に、What を使った感嘆文についても扱うことが考えられる。また、毎時の Small Talk の表現例として扱ってもよい。

3. 措置は必要ないが、注意が必要なもの

● 現在完了形／現在完了進行形

旧 *SUNSHINE* では2年生 PROGRAM 7, 8 で扱われている。一方、新 *Sunshine* では3年生 PROGRAM 1, 2 で扱われているため、令和6年度2年生（＝令和7年度3年生）の生徒は二度目の学習となる。理解度を確認しながら指導を行うとよい。